

2013年5月

臨床研究協力をお願い

- 研究名 自己免疫性膵炎のステロイド治療後の膵実質の画像変化
- 対象 2000年から2013年3月に臨床的に自己免疫性膵炎と診断された方
- 目的・概要 自己免疫性膵炎の治療にはステロイドがよく奏効し、その治療効果を確認する際にも画像診断が活用されています。治療効果の判定において、画像診断では炎症部位の腫大の改善として捉えることができる。その際、治療前の画像診断において正常膵実質と判定されていた領域でステロイド反応性が認められる場合がまれにあります。  
そこで、治療前後に行われた造影CT画像を振り返り、診断時に正常膵実質と思われた部位にステロイドによる反応が認められていないか、またそのような症例の病変分布に特徴的な所見がないかを明らかにしたいと考えています。また治療前後の造影パターンを解析し、その変化に有無を検討したいと考えています。これらより自己免疫性膵炎の正確な診断につながり、造影パターンの変化が治療効果判定に用いることができるのではないかと考えています。
- 方法 対象の方の、カルテに記載された病歴や検査情報、画像情報を利用して研究・評価を行います。
- 効果 限局性自己免疫性膵炎の診断の向上と画像診断による明確な治療効果判定基準を示す可能性があると考えています。
- 副作用・危険性・不利益等  
追加検査は行いませんので、この研究による身体への不利益はありません。
- 個人情報の保護  
個人情報は、匿名化を行い、個人を特定できないようにして使用します。  
研究目的以外では使用しません。
- 同意及び撤回 研究協力を辞退されたい方やご質問のある方はご連絡下さい。
- 費用（医療費）追加の医療費は発生しません。

連絡先・問い合わせ先

滋賀医科大学放射線科 研究代表者 大田 信一

Tel: 077-548-2536 Fax: 077-544-0986 E-mail: junryuhei@belle.shiga-med.ac.jp